

平成 30 年度
下水道に関する人身事故発生状況について
(平成 30 年 12 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況(総括)

(平成30年12月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	12月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (4)	0 (4)
	2. 負傷事故	3 (3)	3 (2)	2 (2)	4 (4)	4 (3)	4 (4)	3 (1)	4 (3)	3 (7)	0 (5)	0 (4)	0 (2)	30 (29)	30 (40)
	合計	3 (3)	3 (2)	2 (2)	4 (5)	4 (3)	4 (4)	3 (2)	4 (4)	3 (8)	0 (5)	0 (4)	0 (2)	30 (33)	30 (44)
	累計	3 (3)	6 (5)	8 (7)	12 (12)	16 (15)	20 (19)	23 (21)	27 (25)	30 (33)	30 (38)	30 (42)	30 (44)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (7)	0 (11)
	2. 負傷事故	3 (4)	4 (5)	5 (5)	14 (5)	4 (7)	5 (13)	6 (6)	10 (16)	9 (13)	0 (13)	0 (15)	0 (11)	60 (74)	60 (113)
	合計	3 (4)	4 (5)	5 (6)	14 (7)	4 (7)	5 (15)	6 (7)	10 (17)	9 (13)	0 (14)	0 (17)	0 (12)	60 (81)	60 (124)
	累計	3 (4)	7 (9)	12 (15)	26 (22)	30 (29)	35 (44)	41 (51)	51 (68)	60 (81)	60 (95)	60 (112)	60 (124)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (3)	0 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (11)	0 (15)
	2. 負傷事故	6 (7)	7 (7)	7 (7)	18 (9)	8 (10)	9 (17)	9 (7)	14 (19)	12 (20)	0 (18)	0 (19)	0 (13)	90 (103)	90 (153)
	合計	6 (7)	7 (7)	7 (8)	18 (12)	8 (10)	9 (19)	9 (9)	14 (21)	12 (21)	0 (19)	0 (21)	0 (14)	90 (114)	90 (168)
	累計	6 (7)	13 (14)	20 (22)	38 (34)	46 (44)	55 (63)	64 (72)	78 (93)	90 (114)	90 (133)	90 (154)	90 (168)	-	-

※下段()書きは前年度(平成29年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(平成30年12月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成29年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	3	1	1	1	0	2	0	2	1	0	0	0	11	15
	2. 政令市	0	2	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	7	13
	3. 一般市	0	0	0	1	3	2	2	1	2	0	0	0	11	15
	4. 町村	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	3	2	4	4	4	3	4	3	3	0	0	30	44
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. マンホール	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
	3. 処理場	2	1	1	3	3	2	2	3	3	0	0	0	20	31
	4. ポンプ場	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4	1
	5. その他	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
	合計	3	3	2	4	4	4	3	4	3	3	0	0	30	44
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	負傷事故	3	3	2	4	4	4	3	4	3	3	0	0	30	40
	1. 墜落・転落	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	4	6
	2. はさまれ・巻き込まれ	2	0	1	0	2	3	2	2	0	0	0	0	12	8
	3. 飛来・落下	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
	4. 切れ・こすれ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	9
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14. その他	0	0	0	2	1	0	0	0	2	0	0	0	5	7	
合計	3	3	2	4	4	4	3	4	3	3	0	0	30	44	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	2. 委託先業者	3	0	1	3	4	4	3	4	3	0	0	0	25	39
	3. 第三者	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
	合計(人)	3	3	2	4	4	4	3	4	3	0	0	0	30	46
	累計	3	6	8	12	16	20	23	27	30	30	30	30	-	-

平成29年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	2. 委託先業者	2	2	1	5	4	3	2	4	7	5	2	2	39
	3. 第三者	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5
	合計(人)	3	2	2	5	4	5	2	4	8	5	4	2	46
	累計	3	5	7	12	16	21	23	27	35	40	44	46	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

平成30年度

平成30年12月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等		
12月								
1	H30.12.20	3. 一般市	処理場	①負傷事故	14.その他	<p>タンクローリーから汚泥棟ポリ硫酸第二鉄溶液貯蔵タンクに溶液を受け入れ中、配管残液をエアブローで排出している時に配管サポートが外れ、溶液の一部が飛散、受け入れ立会いを行っていた社員に飛散し、目に入った。社員は保護メガネ(ゴーグル)をかけておらず、安全対策を怠っていた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護メガネの着用を全員に周知し、確実に使用することとした。 ・作業手順書の見直しをおこない社員に周知する。 ・作業前ミーティング時に作業内容、安全事項の共通認識を確認する。 ・設備について常に安全であると過信せず、細心の注意を払いながら作業する。 	委託先業者
2	H30.12.26	3. 一般市	処理場	①負傷事故	14.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿等受入槽破砕ポンプの吸込み側に閉塞したし渣(繊維物)を取り除く作業中、し渣に混入していた注射器の針が左手人差指に刺さった。 ・作業時は衛生上の観点からゴム手袋を装着していたが、注射器等の混入は想定しておらず、耐針仕様の手袋等は装着していなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署への報告。 ・市の環境部局に対し通知。ごみ分別について市民への啓発を依頼。 ・委託先業者に対しては、作業方法等の改善勧告を実施。 	委託先業者
3	H30.12.28	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	5.転倒	<p>処理場内に保管している、フレコンバッグについて点検していたところ、養生シートの紐が外れているのを発見した。強風により養生シートが吹き飛ばす恐れがあるため、外れている紐の縛り直し作業を行っていた。その際、他の紐に足を引っ掛け、転倒し左橈骨をコンクリートスラブに打ちつけてしまった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・労働基準監督署へ今後届出予定 ・現地作業を行う際には、足下にも十分注意しながら作業を行うなど、職員に対して改めて作業の安全確保に関する教育を徹底して行う。 	委託先業者

3.事故発生状況(工事) (平成30年12月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成29年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	4	1	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	10	10
	2. 政令市	1	4	3	4	4	4	2	2	4	0	0	0	28	22
	3. 一般市	1	3	5	11	3	6	7	11	5	0	0	0	52	88
	4. 町村	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	合計	6	8	10	18	8	10	9	14	9	9	0	0	0	92
工事分類	1. 管きょ開削	3	6	7	9	4	9	8	10	4	0	0	0	60	86
	2. 管きょ推進	1	1	2	2	0	0	0	2	1	0	0	0	9	18
	3. 管きょシールド	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5	3
	4. 管きょその他	1	0	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	8	8
	5. 処ポ土木建築	0	1	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	6	13
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	5	8
	7. 処ポその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	合計	7	8	10	18	8	10	9	14	9	9	0	0	0	93
事故類型	1. 墜落・転落	0	3	3	2	0	1	2	2	3	0	0	0	16	30
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	0	0	3	1	1	2	0	1	0	0	0	9	29
	3. 飛来・落下	1	0	0	2	0	0	0	2	2	0	0	0	7	10
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	4
	5. 転倒	1	1	2	0	1	0	1	2	0	0	0	0	8	5
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	10
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	3	13
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	4
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	4	14
	12-2. 公衆災害(物損)	4	4	5	4	4	5	3	3	0	0	0	0	32	17
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14. その他	0	0	0	3	0	0	0	2	2	0	0	0	7	4	
合計	7	8	10	18	8	10	9	14	9	9	0	0	0	93	140
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	2. 重傷	2	4	5	9	3	5	5	8	10	0	0	0	51	81
	3. 軽傷	1	1	1	10	1	0	1	2	0	0	0	0	17	38
	合計(人)	3	5	6	19	4	5	6	10	10	0	0	0	68	130
	累計	3	8	14	33	37	42	48	58	68	68	68	68	-	-
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0

平成29年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	2	0	2	1	1	0	1	2	1	11
	2. 重傷	1	4	4	2	5	8	4	13	8	9	13	10	81
	3. 軽傷	3	1	1	3	3	4	2	3	6	4	7	1	38
	合計(人)	4	5	6	7	8	14	7	17	14	14	22	12	130
	累計	4	9	15	22	30	44	51	68	82	96	118	130	-
その他(民間発注工事など)														
	1. 死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

平成30年度

平成30年12月末現在

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報			被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
12月										
1	H30.12.13	2.政令市	1.管きょ開削	管路埋戻し工	現場内	管路埋戻し中間部の各層転圧を終えて地上に上がろうとした時に、斜面の埋戻し土に片足をとられて左足ふくらはぎを痛めた。	14.その他	47	男	左腓腹筋挫傷 (休業1ヶ月)
2	H30.12.13	2.政令市	6.処ボ機械電気	消毒設備改良工	現場内	既設配管が錯綜する非常に狭い場所で機器を取り付けていたところ、既設次垂注入配管(塩ビ製)の接合部からドレン管が抜け次垂塩素酸ナトリウムが漏えいし、作業員2名に飛散した。	14.その他	70 29	男 男	化学熱傷
3	H30.12.14	2.政令市	5.処ボ土木建築	換気作業	現場内	換気作業を行っている際、作業員が一度現場を離れ、現地に戻ってきた時には被災者が墜落していた。汚水沈砂池水路上部には開口部があり4枚グレーチングがあったが1枚目を外し、送風機で換気していたところ、被災者は誤って2枚目のグレーチングと共に約5m下の水路内に落下した。	1.墜落・転落	64	男	診断中
4	H30.12.18	3.一般市	1.管きょ開削	仮設作業	現場内	鉄板をバックホウで吊り下げて運搬しようとした際、鉄板を支えるために配置していた補助員2名のうちの1名が転倒し、バックホウのキャタピラが接触し足先を負傷した。	6.激突	51	男	左足親指骨折
5	H30.12.19	3.一般市	1.管きょ開削	管渠布設工	現場内	作業帯に進入してきた4tDTから敷鉄板をバックホウにて吊るため、バケツからフックを取り出そうとした際、後退してきた4tDTとバックホウのアーム部分との間に挟まれ、胸部を負傷した。	2.はさまれ・巻き込まれ	66	男	両肺損傷及び肋骨数本骨折
6	H30.12.20	3.一般市	5.処ボ土木建築	コンクリート打設作業	現場内	シンダーコンクリート搬入準備のため、手すりを取り外し、開口部蓋を解放し、既設チェンブロックを横移動したところ、開口部蓋の揺れが大きかったため、バールにて固定させようとした。その際、バールを墜落させてしまい、それを取ろうとした、作業員が墜落した。	1.墜落・転落	58	男	外傷性大動脈損傷
7	H30.12.20	3.一般市	2.管きょ推進	推進工	現場内	下水道管推進工事において、つり上げていたケーシングがクレーン受け止め金具に接触し、受け止め金具がはずれ、溶接準備のため立坑内に行った作業員の足に落下した。	3.飛来・落下	20	男	足の甲骨折
8	H30.12.24	2.政令市	3.管きょシールド	資機材運搬作業	現場内	二次覆工準備のため、立坑下からシールド用軌条資器材の撤去・搬出作業を実施していた際、荷揚げした際に吊り荷の枕木がズレてナイロンスリングが滑り荷崩れを起こし、全ての吊り荷が運搬台車に落下した。そのうち枕木1本(H鋼200*200*2900)が台車から跳ね飛び、昇降階段下に退避していた作業員に接触し、被災した。	3.飛来・落下	52	男	左足関節脱臼骨折
9	H30.12.28	3.一般市	1.管きょ開削	仮設作業	現場内	簡易土留上部に掘削管路内の降雪防止のためのシートを設置するために、補強材を一人で設置していた際、バランスを崩し、4.5m転落した。	1.墜落・転落	55	男	左足踝骨折、右足打撲、背骨ひび

平成 30 年度
下水道に関する水質事故等発生状況について
(平成 30 年 12 月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

水質事故等発生状況 (平成30年12月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	3 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	43 (53)
	累計	4 (1)	10 (4)	12 (10)	21 (16)	24 (17)	32 (28)	36 (33)	40 (39)	43 (46)	43 (49)	43 (53)	43 (53)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (1)	1 (1)	0 (2)	4 (2)	0 (1)	0 (3)	2 (1)	3 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	11 (15)
	2. 政令市	0 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (1)	2 (0)	0 (5)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	6 (12)
	3. 一般市	3 (0)	3 (1)	0 (3)	4 (3)	1 (0)	7 (3)	2 (3)	1 (5)	2 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	23 (25)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	3 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	43 (53)
発生施設	1. 管渠	1 (1)	4 (2)	1 (3)	3 (1)	0 (0)	2 (2)	2 (1)	1 (3)	2 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	16 (20)
	2. マンホール	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (2)	2 (0)	1 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	5 (10)
	3. 処理場	2 (0)	1 (0)	1 (3)	4 (3)	0 (1)	3 (5)	2 (1)	2 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	15 (16)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)
	5. その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (2)	0 (1)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	3 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	43 (53)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	0 (1)	3 (3)	2 (3)	4 (3)	0 (0)	1 (6)	1 (3)	2 (4)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	13 (29)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	2 (0)	2 (0)	0 (2)	1 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	8 (8)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	2 (0)	1 (0)	0 (1)	4 (2)	2 (1)	7 (4)	2 (2)	1 (2)	3 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	22 (16)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	3 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	43 (53)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (3)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	4 (5)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	4 (2)	2 (2)	4 (1)	0 (0)	3 (3)	1 (2)	2 (4)	2 (3)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	20 (21)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (5)
	水質事故 合計	2 (1)	6 (2)	2 (4)	7 (3)	1 (1)	7 (6)	4 (4)	4 (6)	2 (6)	0 (3)	0 (2)	0 (0)	35 (38)
その他案件	2 (0)	0 (1)	0 (2)	2 (3)	2 (0)	1 (5)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	8 (15)	
水質事故等 合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	3 (1)	8 (11)	4 (5)	4 (6)	3 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	43 (53)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)
	② 耐用年数以内	2 (1)	2 (1)	0 (2)	2 (3)	1 (0)	1 (1)	0 (2)	1 (3)	2 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	11 (17)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	2 (1)	2 (1)	1 (3)	3 (3)	2 (0)	2 (1)	0 (2)	1 (3)	2 (4)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	15 (19)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()内書きは、前年度(平成29年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

平成30年度

平成30年12月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
12月								
1	H30.12.6	3. 一般市	その他	その他案件	-		<ul style="list-style-type: none"> ・市の発注工事において、公共下水道汚水管理工事の施工を行うために、受注者が現場仮置場(民地借用)へ行くと、出入口の鍵が切断され、自社の4tダンプが盗難されていた。 ・前日の18:30時点では車両と仮置場出入口の鍵の施錠を確認してから現場を離れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・窃盗侵入事件として警察へ届出 ・鍵の施錠の強化

水質事故等情報データベース(原因:施設損傷・設備故障によるもの)

平成30年度

平成30年12月末現在

	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応		
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応	
12月									
1	H30.12.5	4. 町村	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	42/50	耐用年数以内	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民からの連絡により発覚。道路の隙間から汚水が流出していた。 ・埋設圧送管の表面管底部において、管軸方向のクラックがあるのを確認。そのクラックが原因で、管内の汚水が流出。 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察、消防等への連絡 ・環境部局への周知 ・翌日、管の敷設替え工事実施済み
2	H30.12.19	3. 一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	19/50	耐用年数以内	<ul style="list-style-type: none"> ・県による河川工事の矢板打ち込みにより、河川下越し管路を遮断し閉塞したためマンホールから汚水が溢れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・溢水が農業用水路に流れ込んでいたため、固形塩素を設置 ・ダンパー車による吸引 ・翌日、仮配管にて圧送を開始